

# JR連合2018春季生活闘争 グループ労組連絡会FAXニュース No.24

2018年 7月10日

日本鉄道労働組合連合会

## 連合が第7回回答集計を発表

### 3年ぶりに全体の賃上げ率が前年を上回る

7月6日、連合は2018春季生活闘争の第7回（最終）回答集計結果を発表した。構成組織が「底上げ・底支え」「格差是正」に重点を置いて月例賃金にこだわった闘争を進めた結果、賃上げ額・率とも前年同時期を上回った。また、大手組合と中小組合との賃上げ率の乖離が縮小したことについて、連合は、「2016春季生活闘争から提起してきた『大手追従・大手準拠などの構造を転換する運動』の定着・前進を示す回答を引き出しており、賃金水準の規模間格差是正に向けた前向きな動きである」と評価している。

さらに、非正規労働者の賃上げ額は、時給・月給とも昨年同時期を上回り、長時間労働是正や職場における均等待遇実現に向けた取り組み件数についても大きく増加した。

#### 平均賃金方式（定昇相当込み賃上げ計）

全体	5,934円	2.07%	（昨年 +222円	+0.09%）
300人未満	4,840円	1.99%	（昨年 +350円	+0.12%）
300人以上	6,111円	2.08%	（昨年 +202円	+0.09%）

#### 非正規労働者賃金引上げ

時給	単純平均 21.59円	（昨年 +1.13円）	平均時給 972.10円
	加重平均 24.70円	（昨年 +3.41円）	平均時給 970.62円
月給	単純平均 3,977円	1.95%（昨年 +421円）	
	加重平均 4,146円	2.03%（昨年 +640円）	

以上